

# 大麦特報 -第2号-

令和6年2月  
富山農林振興センター  
富山市農業協同組合

雪解け水や雨水などが停滞することで、湿害が発生して葉色が淡くなり、生育量不足、収量の減少につながります。ほ場の状況をこまめに見回り、排水につとめましょう。

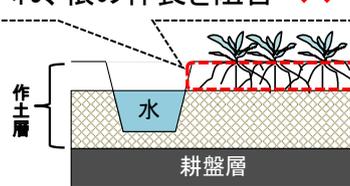
## 1 排水溝の点検・手直し

大麦は湿害に弱く、ほ場内に水が停滞すると、湿害により根の伸長が阻害されるため、生育不良になり、出穂後の登熟も悪くなります。ほ場内の停滞水を速やかに排除するため、「排水溝の手直し」や「排水口への連結」を徹底しましょう。

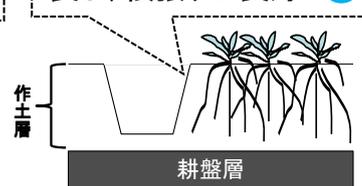
湿害を受けると、根が張れず養分が吸収できないため、葉色が淡くなる



停滞水により根域が制限され、根の伸長を阻害 ×



停滞水がないと根が伸長し、根張りが良好 ○



排水不良田

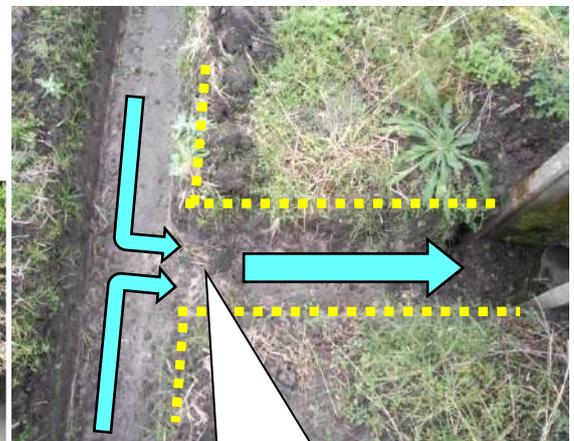
排水良好田

図 排水の良否と根の伸長のイメージ

排水溝の崩れを直し、速やかにほ場外へ排水する



排水を促すため溝を連結する



## 2 消雪後の追肥（分施肥のみ）

**時期** 3月上旬（消雪後、速やかに）

**施用量** 硫安 20 kg/10a

※条間の土が見えないような茎数が多いほ場は、施用量を減らしましょう

※大麦専用肥効調節型肥料（Jコート大麦 48号）を施用したほ場では、原則として追肥は不要（排水溝を手直しても極端に葉色が淡い場合は、農協や農林振興センターに相談ください）